

〔 特 集 〕

今こそ、ダイバーシティ！



ダイバーシティとは、性、年齢、民族、宗教など、さまざまな広がりをもつ多様性を意味します。ダイバーシティ推進社会、ダイバーシティ&インクルージョンなど私たちの周りのあちこちに「ダイバーシティ」という言葉がちりばめられています。

昨今、子どもたちの社会にも、性、価値観、学び方などにおいて多様性が広がっています。新型コロナウイルス感染症拡大でいったん閉じた海外とのつながりも、感染の落ち着きとともに広がり、民族も宗教も異なったさまざまな子どもたちが日本でともに学び・ともに生きる時代の訪れが感じられます。そして、また医療の世界でも先端医療、新生児医療の進歩により、さまざまな疾患の生命予後が改善し、子どもたちが障害をもちつつも、社会に出ていくようになりました。

本特集では、さまざまな疾患や発達特性といった、子どもの身体的・認知的側面の多様さに加え、子どもを取り巻く、宗教・文化的背景の幅広さを取り上げ、さまざまに異なった人が共存する、ダイバーシティ推進社会に生きる子どもたちの支援について考えたいと思います。

(関西医科大学総合医療センター小児科／石崎優子)

